

安全・防爆事業

重点取組施策

世界一安全・安心・ウェルビーイングを追究・実現する企業として、
安全性と生産性向上に役立つソリューションを提供

創業以来、人と機械の最適環境の創造を目指して、さまざまな製品やサービスを世に送り出してきました。その中でも、機械設備を使う際のリスクを低減する安全関連機器や、可燃性のガスや液体などが存在する場所で安全に使用できる防爆関連機器の開発・提供を行うことで、作業者の安全と生産性向上の両立に貢献しています。

こうした「人の命を守る」製品を開発・提供する企業として、安全・安心を実現する多様な製品やソリューションを社会に提供することで、世界一安全・安心・ウェルビーイングを追究・実現する企業を目指しています。

協調安全/Safety2.0のリーディングカンパニー

安全の考え方は、人の注意力や判断力により安全を確保してきたSafety0.0に始まり、機械に安全対策を施し隔離と停止による安全化を図るSafety1.0、そして近年では人と機械が協調し、安全と生産性の両立を実現する、協調安全/Safety2.0へと時代とともに変遷してきました。

IDECでは「安全」だけでなく、「安心」も提供できるような製品開発を進めており、現場の作業者のみならず、誰もが健康で、幸せに、生き生きと暮らすことができる社会を実現するため、社会全体のウェルビーイングの向上を目指しています。



スライドハンドル形アクチュエータ



安全スイッチ「HS5L形」



非常停止スイッチ「XAシリーズ」短胴タイプ

安全関連機器のグローバル展開

生産現場の自動化の推進や、労働安全意識の高まりにより、安全関連機器の市場はグローバルで拡大しています。

扉の開閉検出を行い、作業者の安全を担保する安全スイッチや、安全スイッチをより使いやすくする、スライドハンドル形アクチュエータなど、アクセサリ類の売上も伸びています。また、高いシェアを持つ非常停止用押ボタンスイッチについては、IDEC独自の安全構造を採用し、短胴かつ、耐環境性、耐衝撃性を備え、新しい安全規格ISO 13850に適合した製品を2023年に発売します。

作業環境の安全・安心を確保することで、労働災害の減少に貢献します。

IoTで防爆エリアの設備や機器の予知保全を実現

石油プラントや化学工場などの防爆エリアでは、設備の老朽化に加え、人手不足や熟練技術者の減少により、保守が十分に実施できないといった課題があります。

本質安全防爆構造の無線振動センサ「ES3M形」は、無線ネットワークを通じて設備故障の予兆を計測することで「予知保全」を可能にします。防爆中継機「ES3M-RE形」と合わせて使用することで、広大な敷地に点在する設備の保守・メンテナンスに関わる時間や工数を大幅に削減し、作業の効率化を実現します。



無線振動センサ「ES3M形」



防爆中継機「ES3M-RE形」



担当者の声

高いサービス・サポートを提供し、安全関連機器を拡販
APEM Components Ltd. (UK)
IDEC EMEA Product Manager
Bavith Suresh

EMEAでは、安全関連機器の販売拡大を進めており、目標達成に向けてさまざまな取り組みを推進しています。

ターゲットを絞った広告キャンペーン、プロモーション活動、展示会や会議でのプレゼンス向上を図るとともに、ナレッジトランスファーのための「Quick Start!」プログラムを通じて、市場の主要な代理店や顧客との関係を構築し、アプリケーションサポートと製品デモンストレーションを提供することに注力しています。今後も、欧州市場のお客さまが、最高レベルのサービスとサポートを受けられるよう、経営資源への投資を継続していきます。